

日本国際地域開発学会 2014年度秋季大会

於：九州大学農学部

日時：11月22日(土)10:00～17:30



セラード開発と市街地の発展(Lucas市の現況(2011年)、写真提供:Lucas郡庁提供)
街の周辺には大豆畑が地平線まで広がる。

【シンポジウム】13:00～16:30

場所：九州大学農学部1号館前「21世紀交流プラザ」

テーマ：大規模農業開発の意義と課題

ーブラジル・セラード農業開発は大規模農業開発のモデルとなり
得るかー

座長：溝辺哲男氏(日本大学)

第1報告「日伯セラード農業開発協力事業の特徴とその評価」

本郷豊氏(本JICA専門員)

第2報告「セラード農業開発が日本と世界に与えた経済効果とその意義」

伊東正一氏(九州大学大学院)

コメンテーター：三簾久夫氏(東京農業大学)

雨河祐一氏(九州大学大学院)

【個別報告】10:00～12:00

場所：21世紀交流プラザ セミナー室1、2

九州大学農学部：〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1